

【熊本日日新聞「熊日プレジデント倶楽部」に当社社長が掲載されました】

2011年1月6日
ヒノマル株式会社

< 掲載記事 >

2011年1月1日付 熊本日日新聞 新年号第4部 「熊日プレジデント倶楽部」 17面 (下記は同記事より抜粋)

―社長就任以来続けている7期連続の増益は達成できつつですか。
板東 2010年中期決算は売上高13億円(前期比約4%減取)となりましたが、経常利益は2倍の増益で下期としては過去最高利益となり、よほどの不良債権が発生しない限り、7期連続増益は達成できると思います。04年の社長就任時に私はこの会社を「売上重視」から「利益重視」の企業に変えると言いました。経営利益の拡大、経営者の圧縮、管理体制の強化に全社一丸で取り組んできました。その結果、就任当時40億円あった借入金も本年度末には1億4千万円まで減り、自己資本比率も30%の大幅な向上が実現しています。



代表取締役社長 板東 敏夫氏

―11年度を最終とする中期経営計画「GH10」の達成も十分視野に入っていますか。
板東 経常利益10億円以上を目指そうという目標ですが、現状の3社の課題は大きく、うちは09年度赤字に転落した管材・住設事業の再度黒字化を図るなど、そしてもう一つは4年連続の減収に歯止めをかけ増収に転じることです。売上があと10数億上がれば「GH10」は実現できると予想しています。まさかと思われるかもしれませんが、それが可能にはなりましたということ。損益分岐点売上

念願の経常利益10億円達成が目前

板東 秘策はありません。着実に一つ、一つ、課題をクリアしていくだけです。強いて言えば、既存の4事業部に加え、一昨年から立ち上げたこの新規事業部門に頑張ってもらって、とにかく10数億円の増収かつ8期連続の増益で中期目標の「GH10」高も08年当時と比べて、100億円近く下がり、経営体質の強い会社になりました。リストアップしないでここまでできたことに、感無量の思いがあります。―経常利益10億円達成―計画は手の届くところに来たというわけですね。秘策はここに。

を達成したいというのが今年の目標です。
―素晴らしい経営実績ですが、7年前の就任当時と比べてどう変わったのでしょうか。
板東 社員の意識が大きく変わりました。特に利益に対するこだわりです。我々を取り巻く事業環境は依然厳しい状況が続いておりますが、社員一人一人が「自分の城は自分で守る」という強い信念で数字に対する責任感・危機感をもって仕事に取り組んでいる成果だと思います。「立ちはまたま責任感、危機感が足りない」「もつちヨイ」などですが、「(笑)。今年も徹底的に社員教育を入れ、中期Visionに掲げた「成長する高収益カンパニーの実現」に向け、率先垂範いたします。



熊本本社

会社概要	
所在地	〒862-8660 熊本市中品寺5丁目7-29 ☎096-372-4747
創立	昭和22年2月
事業内容	理事部門：肥料・植草・園芸・産業資材、管材・住設、土木資材、食品包装資材の販売 製造部門：プラスチック軽量食品容器の製造・販売 工事部門：交通安全施設、法面保護、掘削施設、園芸施設等の工事
資本金	6億7,250万円
役員	代表取締役社長／板東敏夫 専務取締役／牧野修一 常務取締役／早川照雄
従業員数	330人
事業所	本社・福岡 支店・宮崎／福岡支店ほか15工場／高橋、守山、岡東
グループ関連会社	積水化学グループ タイパックス、第一製管(株) (ほか2社)